URL http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gifu-hs/ E-mail c27301@pref.gifu.lg.jp ※保護者のページもご覧ください。

高 岐高だより

第140号

令和２年７月30日
岐阜県立岐阜高等学校
PTA会長 笠原 幸治
印 刷／ヨツハシ㈱
題 字／筑間 敏博

▲生徒会立会演説（オンライン投票）

▲書道部「白球に込める　全て」

CONTENTS

●「今だからこそできること」 進路指導部 …… p1
●第１回学校評議員会（書面会議）報告 教頭 …… p2
●充実した夏休みを過ごすために 生徒指導部 …… p3
●教育相談室より 生徒指導部 …… p3
●令和２年度PTA総会 PTA副会長 …… p4
●「如何なる有事でも対応できるように」 3年次委員長 …… p4
●３年次生の親になって 3年次副委員長 …… p4
●「2021年への種」 2年次委員長 …… p5
●変わろうとしている常識 2年次副委員長 …… p5
●高校３年間での学び 1年次委員長 …… p5
●有り難い日々 1年次副委員長 …… p5
●オンライン学習支援事業について 教務部 …… p6
●「オール岐高」で新型コロナウイルスと戦っていきましょう！ 保健主事 …… p6
●読書を通じて世界を広げよう 図書・視聴覚部 …… p7
●前期生徒会発足 生徒会長 …… p7
●団旗と太鼓を寄贈していただきました 應援団 …… p7
●部活動だより 特別活動部 …… p8
●ヨーロッパ物理オリンピック（EuPhO）出場が決定 自然科学部 …… p8

「今だからこそできること」 進路指導部

4月・5月の臨時休校後、6月になって最初の2週間は分散登校、その後ようやく通常の学校が再開されました。オンライン授業を受けてきたものの、学習のモチベーションを継続することは困難だったことかと推察します。様々な行事も中止や延期となり、例年できることができない状況に落胆することもあるかと思います。しかし、このコロナ禍と言われる中でも、できることを探して前向きに進むことを願うばかりです。

通常授業も部活動も再開され、60分で6時限の日もあり、忙しい日が続きました。しっかり復習したいけど十分に取り組めなかったり、発展的な学習に取り組みたいと思っても、翌日の予習や小テストの勉強のためにできなかったり、いろいろな思いがあったのではないかと思います。

今年の夏休みは例年より短いですが、自分の考えで使える貴重な2週間です。臨時休校中も含めてこの3ケ月間での反省をもとに、不完全な内容の復習を行ったり、興味のある発展的な内容に積極的に取り組んだり、深く考えたり、完璧に覚えたり、理解できるまでとことん追求したり、この3ケ月間でできなかったこと、やり残したことを取り戻すには貴重な機会です。この時間が無駄にならないよう、学習や部活動を追求していく、探究していく日々を過ごして、学習面や体力面で成長できる夏にしてください。学校が再開する8月末には、みなさんがさらに成長して新たな良いスタートを迎えることができることを期待しています。

1年次生のみなさんへ

岐阜高校へ入学して初めての夏休みを迎えます。本格的な高校生活もまだ2ケ月ほどしか経っていませんが、岐高生になれましたか。夏休みという言葉に気が緩むようでは、まだ岐高生になれていません。ただ何となく授業がない解放感だけで、時間を無為に過ごせば虚しさだけが残ります。自分で工夫して活用できる時間が十分にあるので、自分のやるべきこと、やりたいことをしっかりと自覚して、朝から晩までとことん取り組んでください。入学以来の3ケ月間を膨らませる人もいるだろうし、取りこぼしたことを補う人もいるでしょう。いずれにしても自分にできる精一杯のことを実践して飛躍できる夏休みにしてください。また、今年は残念ながら実際に大学を訪問する形のオープンキャンパスに参加することは困難ですが、ウェブオープンキャンパスを開催する大学もありますので、志望大学のホームページで確認し、ぜひ積極的に参加して大学についての情報を収集してください。また、FPTで取り組んでいる講義動画の視聴も、一つでも多く見て、知識を深めるとともに、自分が進みたい分野について考えてください。

2年次生のみなさんへ

2年次生のみなさんは学校の中核と言われ、中心となって活動することが多くなり、ますます主体的に行動することが求められます。この先どうなるか分からないことも多くあり不安を感じる人もいるでしょうが、今こそ目標を明確に設定し、その目

標を達成するための計画をし、実践していかなければなりません。学習面においては、この夏休みが高校生活のまさに折り返し地点です。入試を視野に入れ、磨きをかけなければいけない教科の発展的な学習や、苦手意識のある教科の補強をするのに、この夏休みに時間が取れる数少ない機会であることを認識して過ごしてください。また、オンラインの形でもオープンキャンパスや各種研究会などに可能な限り参加して、いろいろな実績を増やしてください。興味関心がある分野の専門書を探して読み、自分なりにまとめてみるのもいいでしょう。ぜひ、「活動の記録」の用紙を利用して、経験した内容を残してください。常に意欲的に時間を使い、充実した夏休みを過ごし、さらに成長することを期待しています。

3年次生のみなさんへ

部活動を不完全燃焼で引退しなければならず、すぐに勉強中心の学習スタイルに変えることができなかった人もいるのではないかと思います。学習を進めれば進めるほど、問題に取り組めば取り組むほど分からないことがたくさんあることに気づき、できないことがたくさんあることに気づくものです。何かを学ぶことは自分が何もできないという自覚を持つことから始まり、その自己の認識が学びの原動力になります。どこまで自分を高めれば結果を出すことができるのか？という不安を解消するためには、自分自身と向き合い、自分自身を磨き上げていく以外に方法はありません。そういった意味で、受験勉強を通して岐高生は大きく成長します。実際に多くの先輩たちが、受験期を経験して成長した姿を見ました。現在、大学に進学して自分の夢に一歩近づくことを考えている君たちにとって、受験勉強は「やらねばならないこと」であると同時に「やりたいこと」なのではないでしょうか。その二つが一致しているのだから、迷う必要はありません。徹底的に取り組んでください。自分を高めるための方法は、やらなくてはならないことをリストアップして、一つ一つ丁寧にこなす、ことです。その時、重要なのは何をこなしたかではなく、何ができるようになったかということです。そのためにも実力テスト・模擬試験などから一つ一つ反省・復習を重ねてください。不安に負けず、進路目標実現に向けて、ひたすら努力する夏休みにしてください。

「未来を変えよう」という言葉を時々見聞きしますが、まるで未来のことを知っているかのように思えます。映画「バック・トゥー・ザ・フューチャー」のようにタイムマシンに乗って、未来の不幸なことを知り、現在や過去に戻って、出来事を変えることができるなら、未来を変えることも可能でしょう。しかし、誰も未来のことは分かりません。映画の最後のシーンのセリフに「未来はまだ決まっていない。未来は自分で切り開くものなんだ。だからがんばるんだ。」とあります。この大変な状況の中でも何ができるかを常に考え、行動に移すことが、よりよい未来につながるのだと信じています。

第一回学校評議員会（書面会議）報告

教頭　下野　宗紀

学校評議員会は、学校外の各方面の皆様よりご意見を伺うことにより、開かれた特色ある学校づくりを推進するために開催するものです。今年度の第一回は今般の状況に鑑みて、書面会議として、七月初旬に実施しました。

【学校評議員】

・伊在井みどり　安江病院　院長
・岩井久実子　元ＰＴＡ　薬剤師
・髙木　敏彦　岐阜県教育文化財団　理事長
・中村こず枝　岐阜市健康部長兼保健所長
・西津　貴久　岐阜大学　教授

（敬称略　委員名は五十音順）

【学校側担当者】

・折戸　敏仁　校長
・笠原　幸治　ＰＴＡ会長
・村山　寛和　事務部長
・市川　浩通　教頭
・下野　宗紀　教頭
・関谷　篤　教務部長
・杉山　晴美　生徒指導部長
・立川　喜教　進路指導部長

【会議資料の概要】

（一）第一回学校評議員会資料
・臨時休業期間中の本校の対応について
・本校の本年度の教育目標について
（各分掌から報告）
（二）岐高生の活動　～新聞記事等より～
（三）岐高だより
（四）進路のしおり

主なご意見・ご提言の内容

●意見①…休業中に早速オンライン授業に対応されたこと、すぐ取り組める準備ができていたことは素晴らしいと思います。まだ慣れないことで、トラブルの発生にも苦慮されたことと推察いたします。生徒によりウェブ環境に差があると思われます。そのために学力に差が出るようなことのないように配慮をお願いします。

●意見②…自治体、学校薬剤師の情報のもと、消毒ルールがしっかりとされています。接触感染の予防としては、生徒個々に、マスクの着用、手指消毒の徹底をご指導ください。濃厚接触者の定義は、「マスクなし、距離が１ｍ以内、十五分以上の会話」です。学校内でこの状況にならない環境に、今後も心がけていただきたく思います。

●意見③…子ども達にとっては、充実した高校生活を送っていただきたいとの思いでいっぱいです。そのためにも、危機意識だけに振り回されるのではなく、しっかりとした将来ビジョンを、また一生の夢を子ども達が持てるような学校現場であることを切に願っております。

充実した夏休みを過ごすために

生徒指導部

生徒の皆さんへ

1「生命」を大切にしよう

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に置いて行動しよう。感染しない・させないために、厚生労働省や県からの通知に注意し、適切に対応することが大切です。

2 周囲の人への思いやりを持とう。悩みは周りにいる大人や友人に相談しよう。相談窓口の利用もできます。

3 交通事故に遭わない、起こさない。特に次の項目において事故の発生が多いので、注意しよう。

①交差点での一時停止。
②自転車は道路左側を走行。
③自転車は車道を走行。車道を走行するのに支障がある場合は歩道を走行しても良いが、歩行者が最優先。

4 河川・海・プール等での活動には最大限注意し、水難事故を起こさない。単独での行動は絶対にしない。

5 部活動その他の活動においては、熱中症等にならないよう十分な配慮を。

2 自己管理能力を高めよう

1 生活のリズムを崩さず、規則正しい生活を送ろう。

2 年度当初に設定した学習や高校生活の目標を達成できるような計画を再確認し、必要があれば修正を加えよう。

3 宿題などは計画的に取り組み、学力の伸長に努めよう。

4 常に岐高生としての自覚をもち、自らを律し責任ある行動をしよう。

3 豊かな人間性や社会性を身につけよう

1 部活動やその他の課外活動などに参加して、人間性・社会性を身につけよう。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止が最優先です。感染リスクの高い活動は避けよう。

2 読書を通して思索を深め、視野を広げよう。美術館・博物館・科学館・図書館などを利用する場合は、事前にHPなどで新型コロナウイルス感染症拡大防止への各館の対応を確認して、その指示に従って行動してください。

3 家族の一員として、家事等の分担や手伝いなどを積極的に行おう。

4 倫理観や規範意識を持とう

1 善悪を正しく判断して行動し、法に触れる行為を絶対にしない。
（薬物乱用、万引き、暴力行為、喫煙、飲酒、風紀上不健全な場所への立ち入り、深夜徘徊など）

2 情報モラルやマナーの厳守！ 個人情報を掲載しない。他人の誹謗中傷などを書き込まない。

3 好奇心に任せて「出会い系サイト」や、「非出会い系サイト」と呼ばれるコミュニティサイトなどにアクセスしたり、SNSで見知らぬ人と交流しない。

保護者の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お子様の行動についてご配慮願います。また、交通事故防止のため、今一度お子様と交通ルールの確認をお願いします。何かご心配な点があれば、担任または年次主任までご連絡ください。

教育相談室より

生徒の皆さんへ

もうすぐ夏休み。いつもより少し短くなった今年の夏休みを、あなたはどう過ごしますか。3年次生にとっては進路希望を実現する大切な時です。オンとオフをうまく切り替えながら、この夏を有意義なものにしてください。1・2年次生には、忙しい生活から解放され、普段できないことに挑戦できる時です。学力アップを目指すことは勿論ですが、読書や運動をしたり、進路について周りの人と話したり、いろいろな体験をしてみてください。8月24日に元気な姿で登校してくれるのを待っています。

保護者の皆さまへ

夏休みは、親子でゆったりとふれあう絶好の機会でもあります。お子様の話にじっくりと耳を傾ける時間を持っていただけるとよいのではないかと思います。高校三年間の間には、物事がうまくいかず苦しい時期もあるかもしれません。そんなとき、子どもの気持ちに寄り添う大切なポイントを二つ紹介したいと思います。

❶子どもの気持ちを受け止める

私たち大人は子どもの辛い気持ちや悲しい気持ちに耳を傾け受け止めたつもりでも、すぐに「でも頑張ろう」というメッセージを伝えてしまいがちです。もちろん、そのように励まして、お子様がすぐに元気になれることもあるでしょう。しかし、悲しみや辛さの度合いによっては、動けない場合もあるのです。そんな時は、子どもの気持ちに寄り添い聴くことに力を注いでみてはどうでしょうか。子どもの気持ちをわかろうとしてじっくり聴いているうちに、子ども自身が次第に自分の気持ちを語りだすことがあります。この語りを通じて、子どもは自分の気持ちを様々な角度から見つめ、心を整理し、悩みに向き合うことができるようになるのです。

❷子どもと一緒に考える

一緒に考えるというのは、親がつい先走って意見を述べたり、かわりに問題を解決しようとしたり、お膳立てをすることではありません。考える主体は子どもであることを忘れず、時間がかかっても、お子様自身が答えを出せるように見守ることが大切です。親が子どもの考えや行動を先回りして指示を出したりするのではなく、お子様の話をじっくり聞くことで、子ども自身の問題解決能力も育つのではないでしょうか。

事故や困った時の連絡先

★**事故・事件等**
最寄りの警察署生活安全課へ
（緊急時には110番）

★**いじめ・悩み・困りごと（学習・進路）などについての相談**
子供SOS24
TEL 0120-0-78310
（夜間・休日・祝日全24時間体制）

令和2年度ＰＴＡ総会

ＰＴＡ副会長　長尾　武

4月28日に開催予定だった総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が大きいことから中止となりました。

そのため、総会に諮る予定だった議案(1)令和元年度事業報告について、(2)令和元年度決算及び監査報告について、(3)役員の改選(案)及びＰＴＡ会則改定(案)について、(4)令和2年度事業計画(案)について、(5)令和2年度予算(案)については、書面表決により承認をいただきました。

3月2日から始まった臨時休校は、約3ケ月にも及ぶこととなり、子供たちの高校生活も大きく変わってしまいました。

ＰＴＡ活動についても、林間学舎奉仕活動を中止とする等、実質的に活動できない状況が続きました。

6月15日から一斉登校が始まって、本来の姿に戻りつつありますが、「新しい生活様式」のもと、今後も様々な制約が続くものと思われます。

私たちも経験したことのない、この困難と急激な変化を、子供たちが「百折不撓」「自彊不息」の精神で乗り越え、成長の糧にできるよう支えていきたいと考えています。

本年度も、ＰＴＡ活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

PTA本部役員

副会長	会　計	会計監査	会計監査	会計監査
今井田　直	野口眞佐江	杉山　弘志	平野　太治	青島　祐子
副会長	会　長	校　長	副会長	副会長
長尾　　武	笠原　幸治	折戸　敏仁	冨田　三奈	加藤　大武

年次委員

2年次副委員長	2年次副委員長	3年次副委員長	3年次副委員長	1年次副委員長	1年次副委員長
江頭　朋子	萩野　順子	林　　弘子	望月　千洋	操　　奈美	青戸　祥子
2年次委員長	会　長	校　長	3年次委員長	1年次委員長	
折居　恒治	笠原　幸治	折戸　敏仁	古澤　英樹	金森　　隆	

「如何なる有事でも対応できるように」

3年次委員長　古澤　英樹

今年度は異例のスタートとなりました。

例年、3年次ＰＴフォーラムの報告をさせていただいておりますが、中止となりましたので、保護者としての思いを述べさせていただきます。

新型コロナウイルスの影響で、すべての事が初めてで、今現在の対応が正しいのかさえ、誰にも分りません。

そんな状況に置かれていても、臨機応変に対応していかなくてはならないのは、生徒自身も分かっていると思います。

ここ、岐阜高校の卒業生の中にも新型コロナウイルスの対応に奔走してみえる方もいることでしょう。

子供達の柔軟な考えや判断に任せていきたいと思います。

我々保護者としては、新型コロナウイルスの第2波・第3波に備えて、子供達の体調管理、また、ご家族の健康管理を怠らないように、子供達が万全の状態で受験に挑めるよう、サポートしていかなければならないと思います。

今回の経験は、将来有望な子供達にとって、プラスとなるよう、考えていきたいと思います。

3年次生の親になって

3年次副委員長　林　弘子

未だ新型コロナウイルス感染症の不安を感じる中、ようやく学校生活がスタートしました。

高校3年次の貴重な3ケ月間が失われるとは2年の終了時には思いもよりませんでした。

長い休みの間に、学校での学びの時間、部活の最後の大会も無くなり、息子が無気力になってしまわないかと絶えず心配していました。

そのような中、新たに始まったオンライン授業、学校からのメールは大変心強いものでした。

今後第2波が来て休校などになってしまった場合の為にも、ますます充実していただきたいと思っています。

また今年は大学センター試験から大学入学共通テストに変わる年ということで去年までとは違うことが多々あり、先生方もご苦労されていると思います。

親としても戸惑うことばかりですが、先生方のご指導のもと無事に受験を終えられるよう、日々子どもの体調を気遣っていきたいと考えています。

最後に、ＰＴＡの役員として今年は例年と同じ活動をすることは難しいですが子どもたちの学校生活が少しでも充実するのであれば、微力ながら協力していきたいと思っています。

「2021年への種」

2年次委員長　折居　恒治

2021年3月X日の夕方、私は大学入学試験を終えて試験会場を後にした。とにかく人生の中で忘れないだろう一日。緊張と不安に入り混じって、ようやく感じたほのかな解放感が心地よかった。家路の車中、結果はともかく、ここまでやってきた勉強と自分自身に悔いはなかった。

その頃には「2020年は年初まもなくから岐阜高校を大きく揺り動かし、数々の行事を吹き飛ばした大事件があった。」人々はそう言い合っているかもしれない。お察しの通り、岐阜高校にとどまらず、新型というそのウイルスが世界にもたらした恐怖と混乱の災いの事である。

2020年6月W日、久しい晴れ間の日曜に、裏庭の庭木は勢いよく伸び、道端にも赤紫や淡い青のアジサイが咲き、夜には虫も鳴いている。そんな日常の中、「私たちは一体何をこんなに騒いでいるのかな？」

このウイルスとの付き合いを「戦い」だと思っているのは、きっと人間の脳の中だけかもしれない。「ウイルスはマンモスをも倒す」と昔聞いたが、「ウイルスは人間の脳をも倒す」のだろうか。

「思いは種、行動は花、結果は果実」

良い思いが、良い行動を生み、良い結果を引き寄せる事実は偶然ではなく、必然なのだ。環境が結果を左右するのではなく、自分の環境を自分で整えるという思いと行動が結果を左右する。それを自ら体験するのが岐阜高校生活であり受験勉強なのだ。2021年のX日はきっと自分の手で良くできるはずなのだ。

変わろうとしている常識

2年次副委員長　江頭　朋子

季節は初夏となり、山の木々が青々としてきました。岐阜高生の皆さん、ご入学・ご進級おめでとうございます。

新型コロナウイルスが世界的に流行する中、日本では緊急事態宣言が解除されましたが、流行の第二波、三波も警戒されています。今年の一大イベントであった東京オリンピックが延期され縮小開催の方針となったものの、それさえもどうなるのか分からない状況です。少しずつ元の生活に戻ろうとしても足止めされてしまう、そんな感覚です。

私は毎日、重度身体障害者の在宅看護ケアにあたっていますが、在宅医療の世界でもケアの様相が変わってきました。

至る所で、つい最近まで通用した常識が、通用しない世の中になりつつあるようです。

しかし、そのような状況に戸惑い、不安を抱く中でも、リモートによる教育やビジネスが始まるなど、新たな試みが次々と生まれているのも事実です。

大きな困難の中にこそ、斬新な発想や変革が生まれるものだと思います。岐阜高生の皆さんが、この学び舎でその確かな知性と柔軟な創造力を磨き、多方面でリーダーシップを発揮されることを期待しています。この困難な状況下でなお、皆さんの高校生活が実り多きものとなりますように。

高校3年間での学び

1年次委員長　金森　隆

少し不安を感じながらも楽しみにしていた高校生活が、新型コロナウイルスの影響で2ケ月遅れて本格的に始まりました。息子は、入学前に抱いていた岐阜高校のイメージ通りだったところや差があったところに一喜一憂しながらも、比較的スムーズなスタートを切ることができたように感じます。これは2ケ月間の在宅学習期間、高校の学習への導入として与えていただいた学習課題や先生方の工夫に満ちたオンラインによる学習支援、朝の点呼などを通して、岐阜高校の生徒として一歩を踏み出す足掛かりを作っていただけたお陰だと深く感謝申し上げます。

入学式で折戸校長先生から「与えられることだけをするのではなく、自ら求めて学んでほしい。」というお話しがありました。私自身高校時代を振り返ると、沢山の英単語や数学の難問など与えられた課題に圧倒され、自ら求めて学ぶ楽しさなど分からないままに卒業を迎えました。もう少し心に余裕を持って学び、幅広い分野に興味を持てていれば、主体的に学ぶ楽しさを実感することができたでしょうし、また与えられた課題も克服できたのではないかと反省の日々です。

いよいよ高校生活が始まりました。熱心に指導してくださる先生方や個性豊かな友達に刺激を受けて自ら求め学び、充実した3年間を送ってもらいたいと思います。

有り難い日々

1年次副委員長　青戸　祥子

入学式から2ケ月が経ち、娘が自転車を漕いで学校に向かう元気な後ろ姿を見送れることに、幸せを感じております。スタートから家庭学習、リモート授業、分散登校と、経験の無い生活を経て、待ちに待った光景でした。

連日新型コロナや地震のニュースが流れ、この先どうなってしまうのだろうと不安でいっぱいでした。休校や行事の中止を聞き残念な思いもしました。しかし、このような状況でも憧れの高校生活を楽しみ、新しい環境に順応していくたくましい娘たち。岐阜高生であるという自覚が、前向きな気持ちを後押ししてくれているのかもしれません。頼もしく心強く、成長を感じる毎日です。

この度ご縁をいただいた役員のお仕事もまだ何も始まっておらず、これからひとつずつ教えていただく次第です。このような時だからこそ、PTA活動を通じて皆様と繋がれることをとても有り難く感じます。子どもたちが素晴らしい環境で学べることに感謝し、PTA活動の一助となれるよう尽力いたします。

まだまだ気の抜けない生活は続きますが、心置きなく触れ合える日を迎えるために、日々大切に過ごしてまいりたいと思います。

オンライン学習支援事業について

教務部

新型コロナウイルスによる安倍総理大臣の休校要請を受け、本校でも2月28日㈮の午後より在校生は帰宅し、そのまま臨時休校となりました。

臨時休校期間中の学習機会を確保するため、県下全ての県立高校でオンライン学習支援が配信されました。本校では、4月22日㈬より本格的に配信を開始しました。

パワーポイントを流しながら音声解説を入れる、ホワイトボードを利用してタブレットで撮影しながら解説する、チャットや挙手機能を活用するなど、様々な工夫をしながら配信しました。

一方で、音声が流れない、映像が途中で止まる、接続できないなど、当初は多くのトラブルが発生しました。その原因も、web会議システム上の制限、タブレットやPCの性能に起因するものなど、多岐にわたり、その都度、解決方法を試行錯誤しながらの配信でした。

5月1日㈮からこれまで配信された学習内容の動画がYouTudeで再配信されるようになり、11日㈪から朝のSHRが開始されました。14日㈭からは、これまでの1系統から各学年1系統ずつ（計3系統）の配信になりました。1年次生は18日㈪～20日㈬にLHRがあり、各クラスでオンラインによる自己紹介などが行われました。3年次生は19日㈫に進路指導部主催で進路ガイダンスが行われました。

5月26日㈫～29日㈮の2者懇談期間や6月1日㈪～12日㈮の分散登校期間中も配信は継続され、6月15日㈪の通常授業再開に伴い、配信は終了しました。

▲タブレットで撮影して配信している様子

生徒にアンケートを行ったところ、

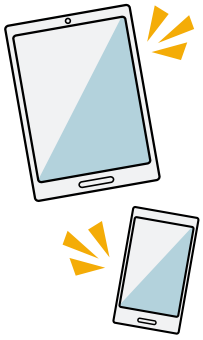
●オンライン学習支援を

・全て視聴した（45％）
・ほとんど視聴した（47％）

●オンライン学習支援はあなたの学習や学力の定着、伸長に

・非常に役立った（17％）
・おおむね役立った（65％）

と、好意的な回答が多く寄せられました。



「オール岐高」で新型コロナウイルスと戦っていきましょう！

保健主事　津田　行代

卒業式翌日からの約3ケ月に及ぶ長期休校期間、6月1日からの分散登校期間を経て、6月15日からようやく通常日課による授業が再開されました。しかし、生徒たちは毎朝昇降口で体調チェックを受け手指消毒して校舎に入る、昼食時には全員が自分の席で前を向いて黙々と食べる、学校内ではマスクを着用するなど、数々の制約のもと、新しい学校生活を送っています。

昨年12月、中国・武漢市で原因不明の肺炎患者が確認されたのと同じころ、私が保健の授業を担当した一年次の三クラスで、感染症の恐ろしさを疑似体験する実験を行いました。全員が水を入れたビーカーを持ち、その水を五人と混ぜ合わせた後、指示薬を入れるという単純な実験です。指示薬を入れるとクラスの半数以上の水は瞬時に赤く染まり、無色透明のまま（反応なし）はごくわずかでした。この実験の種明かしをします。最初に私のビーカーに入っていたものは、水酸化ナトリウム水溶液（以下、ウイルス水）でした。それを一人の水と混ぜ合わせて感染をスタートさせました。一人が二人に、二人が四人に、四人が八人に…、五人との混合により計算上は三十二人が感染したことになります。その結果、四十人のうち半数以上の水にウイルス水が混入し赤く染まったのです。最初の二回は前後左右の人との混合に制限しましたが、三回目以降は実験室内を動いて離れた席の人との混合を指示しました。これにより、移動範囲が広がってアッという間に感染が拡大しました。この実験で感染症の恐ろしさを知り、どうしたら感染症を予防できるかを考えて行動していくべきだ、と多くの生徒が感想を聞かせてくれました。

現在、国内の感染者数は激減していますが、今なお世界中で感染者は増え続けています。上記の実験と同様、感染防止対策が緩み一人ひとりの意識が低下すると、いつ第二波・第三波が襲ってくるかわかりません。有効なワクチンも治療薬もないウイルスとの戦いはまだまだ続き、日本中でwithコロナの新たなライフスタイルの実践が呼びかけられています。本校では、引き続き登校時における体調チェックや手指消毒、職員による一日二回の消毒作業などを継続し、安心安全な学校生活を送れるよう万全の対応をしていきます。各家庭におかれましても、基本となる三つの対策（人と離れて行動する・マスクを着ける・手を洗う）を徹底していただき、くれぐれも体調管理にご留意ください。

▲登校風景

▲消毒作業の様子

読書を通じて世界を広げよう

図書・視聴覚部

この春、新型コロナウイルス感染予防のため学校だけでなく公共図書館も次々に休館し、皆さんが本を手に取る機会が減ってしまうことを心配していました。そのような状況の中、企業や団体が電子書籍や学習に役立つ電子コンテンツを無料で公開し始め、ぜひ皆さんに少しでも読書をする機会を持ってもらいたいと、「電子書籍を活用しよう！」や「こんなときこそ・こんなときだから読みたい本」を発行しました。大変な時期ではありましたが、普段勉強や部活に忙しい岐高生にとって、じっくりと何かに取り組んだり考えたりできる機会になったのではないかと思います。

またこの期間は、新型コロナウイルス関連のニュースが連日報道され、国内だけでなく世界の国々の動向を普段より意識した期間だったように思います。以前、翻訳家の先生が、最近は翻訳小説が読まれなくなっており、日本の若者が内向き傾向になってきているのではないかと話されていたことがあります。皆さんはどう思いますか。昨年度の青少年読書感想文全国コンクールの課題図書の一冊、『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ』も人種差別をテーマとした翻訳小説でした。この本を読んだ人は、「自分だったら」と登場人物の立場に立ち、このテーマに向き合いながら感想を書いてくれました。おそらく知識としては知っていたであろう問題を、登場人物たちの心情を通すことで知識の上だけでなく、もっと肉薄した問題として捉え、真剣に考えることができたのだと思います。海外の若者向けの小説は社会問題を取り入れている作品が多く、ストーリーを楽しむだけではなく、外国の文化や社会問題に目を向けるよいきっかけとなってくれます。

7月には、毎年恒例の先生方のおすすめ本を紹介した小冊子『一燈』を発行しました。読むことの楽しさを教えてくれる小説から、先生方が学生時代に影響を受けた本、皆さんの学習に役立つ本、今後の人生の指針となり得る本、いろいろな本が紹介されていますので、たくさん読んで自分の世界を広げてください。

読書は能動的な行為です。理解しようと思えば、考えながら読まなければなりません。これまで知らなかった分野は特にそうです。しかし、読み続けていくと、視野が広がり、思考も深まっていきます。今年度の夏休みは例年と比べて短くなりますが、じっくりと読書に取り組めるこの機会を活かして、自分が知らない分野にぜひ挑戦してみてください。

前期生徒会発足

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による、およそ3ケ月にも及ぶ休校もようやく終了し、ついに学校のある日常が戻ってきました。遅ればせながら令和二年度前期生徒会執行部、始動です。

今期の生徒会も個性豊かなメンバーが集まりました。この六人で各々の長所を生かし、また短所を補いつつ、粉骨砕身の思いで皆さんの岐高生活を充実させていくことをここに誓い、今期生徒会活動の企画運営に奮励努力していきます。

さて、昨年度岐阜高校では、時代や社会の変化に伴い不適切とみなされるようになった校則の見直しを行ってきました。今年度も学校生活に対する意見・要望など、どんどん生徒会に寄せてください。我々が一つ一つ丁寧に、全力で対応していきます。前期生徒会をよろしくお願いします。

▲前期生徒会執行部　集合写真

団旗と太鼓を寄贈していただきました

応援団

創立150周年に向けて本校卒業生である株式会社マツバラ代表取締役社長松原史尚様と大垣共立銀行様が私募債を利用して應援団団旗を、また松原様が個人として太鼓を寄贈してくださり、7月6日に本校にて贈呈式が行われました。松原様は「新型コロナ影響下で活動が減る中でも、団旗とともに多くの人にエールを送ってほしい」と激励されました。3年次生の沢田憲信第71代應援団長は「先代とのつながりに感謝し、伝統を次の世代につなげたい」と御礼の言葉を述べました。

7月17日には早速、寄贈していただいた団旗と太鼓を使用して夏季岐阜県高等学校野球選手権大会に出場する硬式野球部の壮行会を実施しました。

◀贈呈式での記念写真

硬式野球部▶
壮行会の練習

部活動だより 部活加入一覧 （令和２年７月９日現在）

体育系

部名	顧問	所属生徒数 男子 1年	男子 2年	男子 3年	男子 計	女子 1年	女子 2年	女子 3年	女子 計	合計
硬式野球	北川(英)　八代　古川(統)　若山	10	7	13	30	3	4	0	7	37
陸上競技	柘植(由)　堀　早水	8	16	11	35	3	12	7	22	57
サッカー	柘植(望)　安達　田口	17	22	17	56	3	0	1	4	60
バレーボール	覚田　下畑　津田　杉山(晴)　〈岩倉〉	8	5	3	16	12	5	3	20	36
バスケットボール	小澤　瀬川　三浦　杉山(秀)	16	8	11	35	3	8	9	20	55
ソフトテニス	大野(隼)　堀口　林	7	12	5	24	8	7	5	20	44
水泳	糸井　前田	14	9	3	26	1	5	3	9	35
卓球	塩澤　古川(愛)　生駒	15	5	14	34	5	4	3	12	46
バドミントン	石井　関谷　川村　長屋	11	6	6	23	16	6	10	32	55
柔道	水谷　伊藤(誠)　〈新井〉	1	1	2	4	0	2	0	2	6
剣道	小野　永瀬	4	5	7	16	4	5	2	11	27
軟式野球	立川　及川	11	11	11	33	2	1	1	4	37
テニス	加藤　尾関　田中　樹下　(丹羽)	18	10	21	49	10	8	5	23	72
ハンドボール	黒井　藤澤　〈正田〉	6	7	9	22	1	2	1	4	26
体育系合計		**146**	**124**	**133**	**403**	**71**	**69**	**50**	**190**	**593**

文化系

部名	顧問	所属生徒数 男子 1年	男子 2年	男子 3年	男子 計	女子 1年	女子 2年	女子 3年	女子 計	合計
美術	日置　末岡　〈伊藤(茂)〉	0	0	1	1	2	5	3	10	11
書道	筑間　石榑	0	0	0	0	7	4	10	21	21
演劇	井上　坂本	1	3	5	9	5	6	6	17	26
音楽	岩崎　栗田	0	0	1	1	1	5	2	8	9
文芸	武藤　鷲見	1	2	4	7	2	3	1	6	13
茶華道	福田　藤吉　〈横井〉　〈永井〉	0	0	0	0	4	6	4	14	14
自然科学	森(有)　日比野　岩田　太田　棚橋　〈園部〉	14	12	22	48	3	7	7	17	65
ＥＳＳ	大野(麻)　岸本　奥田	1	5	6	12	17	8	8	33	45
調理	亀山　大橋	0	0	0	0	8	9	10	27	27
写真	村橋　籠橋	5	3	2	10	5	7	2	14	24
囲碁・将棋	井深　北川(雅)	10	12	9	31	0	0	0	0	31
吹奏楽	白木　谷口　木野村　〈松山〉	5	2	6	13	14	17	19	50	63
クイズ研究	澤田　大野(玲)	19	28	8	55	7	5	2	14	69
文化系合計		**56**	**67**	**64**	**187**	**75**	**82**	**74**	**231**	**418**

局

局名	顧問	所属生徒数 男子 1年	男子 2年	男子 3年	男子 計	女子 1年	女子 2年	女子 3年	女子 計	合計
図書	加納　(鷲見)	2	0	4	6	3	6	3	12	18
放送	森(有)　(黒井)	3	2	2	7	0	2	2	4	11
応援団女子	古川(愛)	0	0	0	0	7	9	2	18	18
局合計		**5**	**2**	**6**	**13**	**10**	**17**	**7**	**34**	**47**

ヨーロッパ物理オリンピック(EuPhO)出場が決定

３年１組　辻　圭汰くん

本校生徒の辻圭汰くんは、この度、7/20(月)～7/26(日)に開かれるヨーロッパ物理オリンピックに日本代表として参加することになりました。ここに至るまでのおよそ１年間は、非常に長い道のりでした。

昨年８月、国際物理オリンピック日本代表候補選考会(物理チャレンジ全国大会)が開催され、流体力学や重力波など高校の物理で扱わない内容の理論試験や、電子回路を使った測定など５時間にわたる実験試験など、非常にレベルの高い試験が行われました。岐阜県予選を勝ち抜いた本校の辻くんはこの大会に出場した結果、６名に与えられる金賞を受賞、高校２年生以下の最優秀賞であるPreferred Networks賞を受賞、さらに12名の日本代表候補に選ばれました。その後も、秋・冬の合宿や、各月の添削指導、春に行われた最終選考試験に参加し、今年４月に見事、国際物理オリンピックの日本代表選手５名の中に選ばれました。

コロナ禍の影響により国際物理オリンピックは今年度実施の中止という非常に残念な決定がなされてしまいましたが、代わりに日本代表チームはヨーロッパ大会へのオンラインでのゲスト参加が認められました。世界の高校生と競い合う中で、大いに楽しみ、活躍できるよう、１ケ月後の本戦に向けて準備を頑張っています。